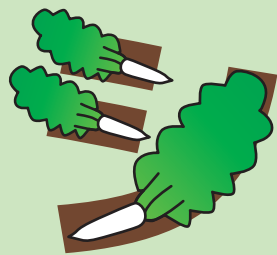


緑肥用葉ダイコン



クリーン

(clean) (試験名：KGM1804※)

※本品種は生研センター「イノベーション創出強化研究推進事業（課題番号 01024C）」の支援を得て市販化いたしました。



おとり植物の効果で
テンサイシストセンチュウ密度抑制効果と、
アブラナ科根こぶ病菌密度低減効果！



根長・根域は広く、深く伸長



緑肥用葉ダイコン シスクリーン

特性・使い方

- 地上部の生育が旺盛な緑肥用葉ダイコンです。
- テンサイシストセンチュウに対し密度抑制効果があります。
- おとり植物としてアブラナ科根こぶ病菌密度低減効果があります。
- 発芽初期生育が早く、早期に土壌を被覆するため、土壌流亡防止雑草抑制効果が高いです。
- 根部の伸長も良好で、排水性改善等、土壌改良効果も期待できます。

播種期

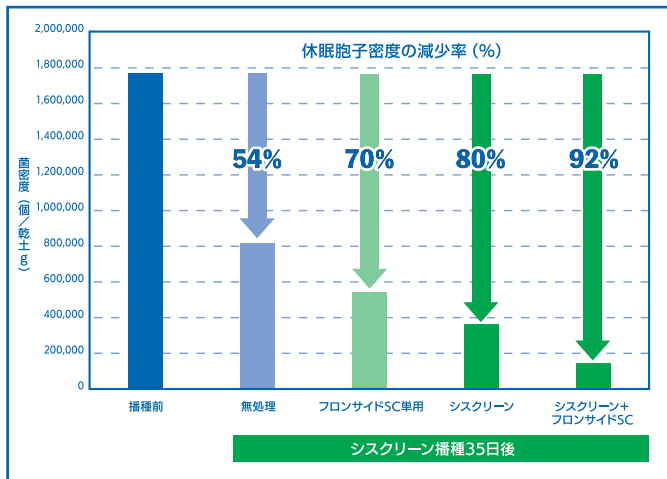
中間地・暖地 3～6月、9～10月
高冷地 4～9月

播種量

2～4kg/10a
(テンサイシストセンチュウ対策には4kgを推奨とする)

アブラナ科根こぶ病の菌密度低減試験

①根こぶ病菌密度検定



【試験概要】石原産業株式会社 中央研究所実施

①根こぶ病菌密度検定 (2022年)

対象病害：アブラナ科作物 根こぶ病

区制：1区4連制、ポット試験

供試薬剤：フロンサイドSC

供試おとり植物：シスクリーン (葉ダイコン)

試験方法：

根こぶ病菌の休眠孢子密度が 10^6 個/乾土gになるよう根こぶ病汚染土壌を準備しその3日後に各処理*を実施。

シスクリーン播種35日後に各処理区の菌密度検定を実施した。

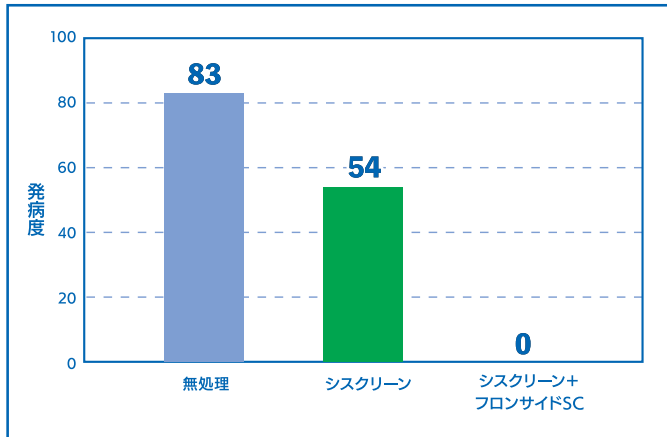
*処理区

(1) フロンサイドSC単用：フルアジナム (フロンサイドの有効成分) の土壌最終濃度が1.7ppmとなるよう処理 (フルアジナム1.7ppmはフロンサイドSC500mℓ/10aを処理し15cmの深さで均一に混和すると同等程度の薬量)。

(2) シスクリーン：汚染土壌におとり植物であるシスクリーンを播種。

(3) シスクリーン+フロンサイドSC：フロンサイドSC単用区と同様の処理をしたのちにシスクリーンを播種。

②根こぶ病防除効果



②根こぶ病防除効果 (2023年)

対象病害：アブラナ科作物 根こぶ病

区制：1区3連制、60×30cmセルトレイ試験

供試薬剤：フロンサイドSC

供試おとり植物：シスクリーン (葉ダイコン)

対象作物：はくさい (品種:無双)

試験方法：

根こぶ病菌の休眠孢子密度が 10^7 個/乾土gになるよう根こぶ病汚染土壌を準備し各処理*を実施。シスクリーン播種30日後にシスクリーンを取り除いた土壌を混和したうえでセルトレイに充填し、はくさいを播種。播種40日後にははくさいへの根こぶ着生状況を調査し発病度を算出。

*処理区

(1) シスクリーン：汚染土壌におとり植物であるシスクリーンを播種。

(2) シスクリーン+フロンサイドSC：フルアジナム (フロンサイドの有効成分) の土壌最終濃度が1.7ppmとなるよう処理 (フルアジナム1.7ppmはフロンサイドSC500mℓ/10aを処理し15cmの深さで均一に混和すると同等程度の薬量) したのちにシスクリーンを播種。